

授業改善 3つの強化ポイント 2017 (中学校 家庭分野編)

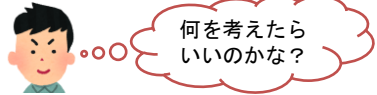
①児童生徒の学習意欲を高める課題の工夫

生徒が主体となる
問題解決的な学習

◆生徒の自分の生活を見つめ、生徒自身が課題を発見したり、「なぜ?」「どうしたらいいのだろう?」と課題解決に必要感を持ったり、「やってみよう!」という自分の目標を明確に持てるよう課題設定と提示の工夫が大切です。

例) 内容A「幼児の生活と家族」 幼児との触れ合い体験の前・後に

▲【学習課題】 幼児とうまく関わるにはどうしたら良いだろうか。



目的の明確化

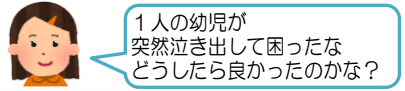
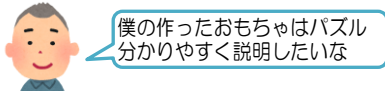
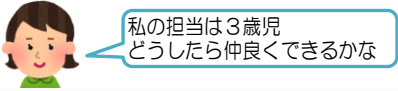
課題解決の必要感

課題の発見

【改善例1】触れ合い体験の前
幼児の遊ぶ姿を映像で見せて
「保育園訪問で、●歳児を
楽しませるにはどうしたらいいかな。」

【改善例2】触れ合い体験の前
生徒が作った幼児のおもちゃを示して
「幼児がこのおもちゃに興味を持ち、
楽しく遊んでもらうには?」

【改善例3】触れ合い体験の後
保育園訪問時の様子を思い出して
「幼児との関わり方で
困ったことはなかったかな?」



◎【学習課題】
幼児の成長に合わせて考えよう
～保育園訪問に向けて、よりよい
幼児との関わり方を考えよう～

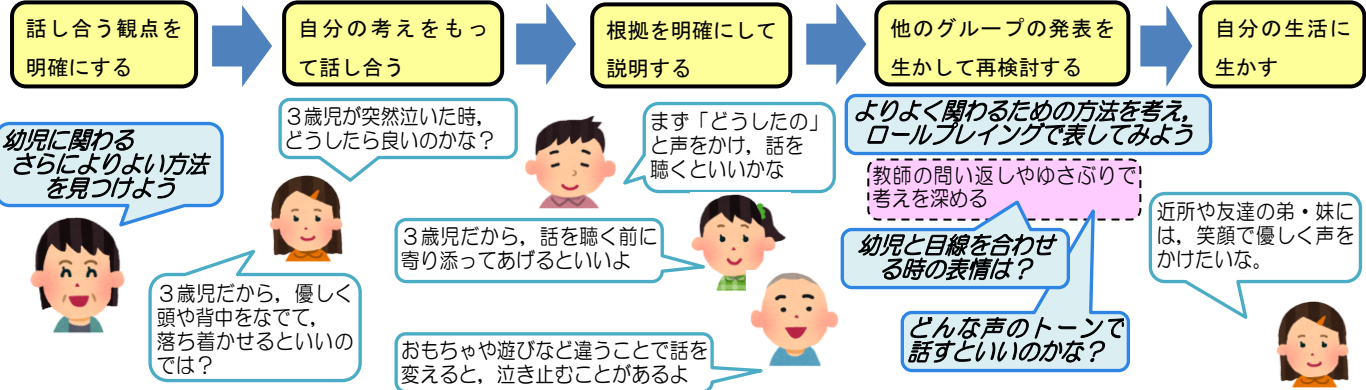
◎【学習課題】
幼児に興味を持ってもらうには?
～製作したおもちゃを使って、
幼児との触れ合い方を工夫しよう～

◎【学習課題】
体験したグループで解決しよう
～幼児の状況に応じた
関わり方を工夫しよう～

実生活に結び付いた問題解決的な学習を繰り返し、効果的に取り入れましょう

②考えを広げ深める対話的な学びの充実

◆自分の課題について情報を収集し、他者と話し合い、様々な角度から考え、比較検討して判断すること、発表し合い、課題を共有すること、次の課題を明確にすることが大切です。



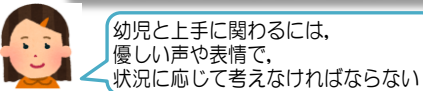
他者との会話を通して考えを明確にしたり、意見を共有して互いの考えを深めたりする場面を設けましょう

③学びを自覚し、次につなげる振り返る活動の充実

◆「目標」に応じた有効な方法で学びを振り返らせましょう。多様な方法の中から、「本時の終末」や「題材の終末」に効果的な「振り返り」を選び、設定しましょう。

書く活動や自己評価・相互評価を取り入れる

わかったことやできるようになったことを活用する



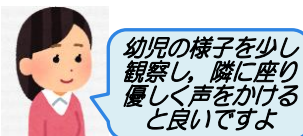
幼児や保育士からのコメントをもらう

発達に応じた幼児へのプレゼントを作る

保育園へのお礼の手紙を書く

幼児との触れ合い体験はとても楽しく、幼児の様子が分かった
また、優しく幼児に関わりたい

ロールプレイングを見て、
幼児が泣き止むまで横で見守ってあげることが
良いなあと思った。



幼児を中学校へ招待するための計画を立てる

小さな弟妹や近所の幼児に積極的に関わる



これからの生活を展望して、課題を持って家庭生活をよりよくしようとする態度を育てるようにしましょう